

Fujitsu 会議録作成支援サービス

TalkVisible

機能説明書

第 6 版
2023 年 1 月
富士通株式会社

FJCS-TV05-006

まえがき

本書の目的

本書は、「Fujitsu 会議録作成支援サービス TalkVisible」（以降、TalkVisible クラウドサービスと呼ぶ）の提供する機能を説明したものです。

本書の読者

本書は、TalkVisible クラウドサービスをご検討されているお客様の導入担当者様、全文文字起こしを行う利用者様（以降、ユーザーと呼ぶ）を対象としています。

本書の構成

本書は、以下の構成になっています。

章	内容
第 1 章 機能概要	TalkVisible クラウドサービスの機能概要について説明しています。
第 2 章 商品概要	TalkVisible クラウドサービスの商品概要について説明しています。
第 3 章 機能詳細	TalkVisible クラウドサービスの機能詳細について説明しています。
第 4 章 動作環境	TalkVisible クラウドサービスを利用するために必要な動作環境について説明しています。

本書の読み方

TalkVisible クラウドサービスの概要を知りたい場合には第 1 章を、機能詳細を知りたい場合には第 3 章を、動作環境を知りたい場合には第 4 章を参照願います。

変更履歴

版数	日付	変更内容
第 1 版	2021/4/19	初版公開
第 2 版	2021/5/26	会話辞書機能を追加
第 3 版	2021/10/28	2 章追加により以降の章番号がプラス 1 2.1 プラン一覧、2.2 メーティング仕様を追加
第 4 版	2022/1/17	3.2 認証機能を追加
第 5 版	2022/3/29	2.2 メーティング仕様の図を変更 3.2 認証機能を修正
第 6 版	2023/1/1	3.6 辞書機能に三種類の辞書について記載 4.1 クライアント環境に Windows8.1 サポート対象外のため削除

目次

1. 機能概要	3
1.1. TalkVisible クラウドサービスとは	3
1.2. 機能概要	3
2. 商品概要	4
2.1. プラン一覧	4
2.2. メーリング仕様	5
3. 機能詳細	6
3.1. ユーザーアカウント機能	6
3.2. 認証機能	6
3.3. ユーザーグループ機能	7
3.4. 音声テキスト化機能	8
3.5. 話者識別機能	9
3.6. 辞書機能	9
3.7. テキスト編集機能	10
4. 動作環境	11
4.1. クライアント環境	11

1. 機能概要

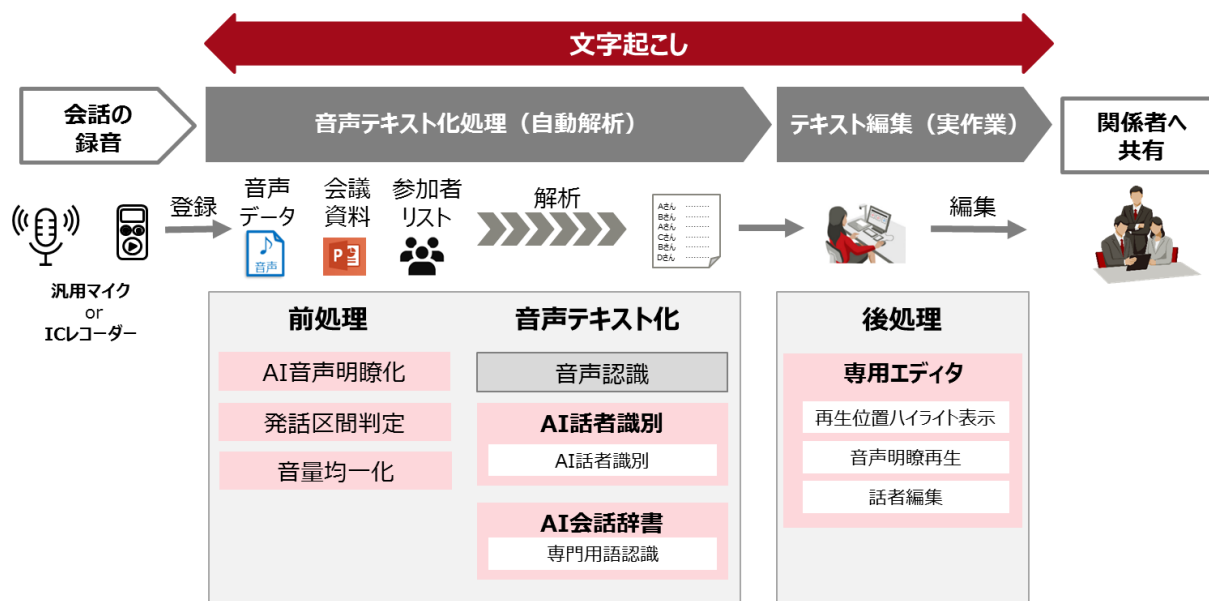
本章では、TalkVisible クラウドサービスの機能概要について説明します。

1.1. TalkVisible クラウドサービスとは

TalkVisible クラウドサービスは、サーバークライアント形態の音声認識サービスであり、会話の管理機能、音声データの解析機能、テキストの編集機能を提供します。

- 会話の管理
 - 会話（会話音声データ、参加者、会話資料など）を作成・削除する機能を提供します。
- 会話音声データの解析
 - 会話音声データをテキスト化する機能（話者識別や音声認識など）を提供します。
- テキストの編集／閲覧
 - 音声を聞きながら、テキストの編集／閲覧する機能を提供します。
- 会話の参照
 - 会話の文字起こしデータ、登録されている情報を参照する機能を提供します。

1.2. 機能概要



- 音声テキスト化処理
 - TalkVisible クライアントを用いて、登録された会話音声データを解析し、テキスト化を行います。そのテキスト化における補正に使用する「専門用語」や「ユーザー固有の単語」を辞書として登録しておくことで、精度向上が期待できます。
- テキスト編集
 - TalkVisible エディタを用いて、テキスト（会話音声データを解析した結果）を修正します。音声を聞きながらのテキスト編集が行えるので、修正が必要な箇所を手早く直すことができます。

2. 商品概要

本章では、TalkVisible クラウドサービスの商品概要について説明します。

2.1. プラン一覧

以下、サービスプランの一覧です。

	基本サービス (旧プラン)	プラン 30	プラン 60	プラン 100	プラン 180
同時に解析実行 できる会話数	1	1	2	3	4
解析待ちとして 予約可能な会話数	7	7	14	21	28
会話保持数	1 グループあたり 25 会話				

※会話には、音声テキスト化処理の対象となる会議等で録音した会話音声データ、参加者、会話資料など一式を登録します。

なお 1 つの会話に登録できる会話音声データ（音声 or 動画）を 1 ファイルに限られます。

2.2. メーティング仕様

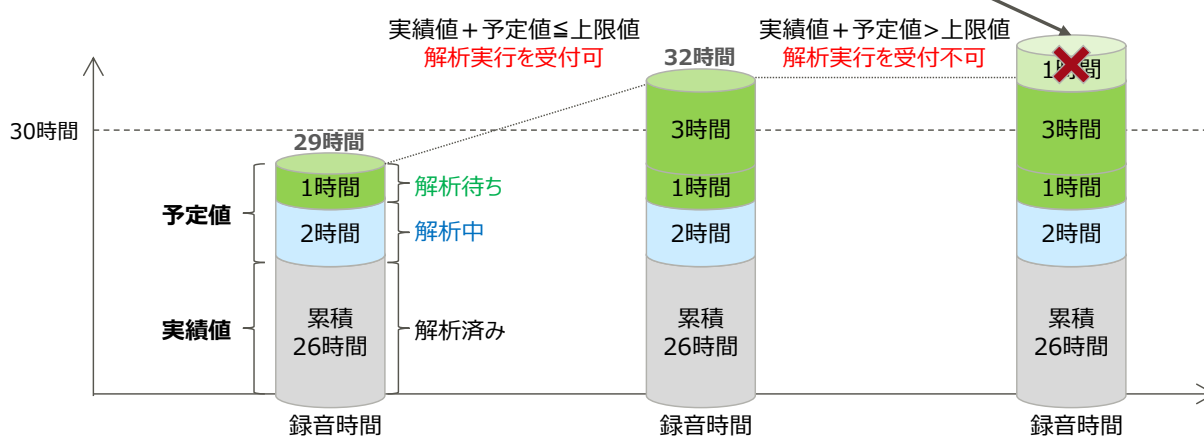
プラン 30,60,100,180 では、音声テキスト化処理が完了（会話解析済み）となった会話音声データの録音時間を実績値（合計解析済時間）としてメーティングします。その実績値 + 予定値が上限値を超えた時、下図の通り、音声テキスト化処理の実行受付ができなくなります。

なお、毎月 1 日 0:00(JST)に実績値は 0 時間にリセットされます。

実績値 + 予定値が上限値を超えた時：

例：プラン30(上限値=30時間/月)

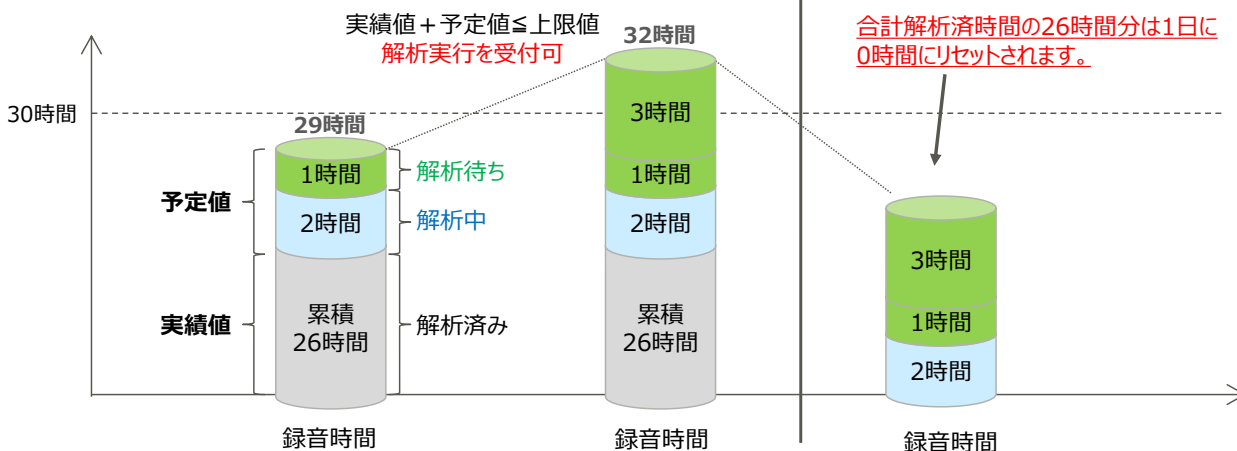
上限値を超えた後に解析実行された1時間分は解析待ちとして受付されません。



毎月 1 日 0:00(JST)に実績値（合計解析済時間）が 0 時間にリセットされた時：

例：プラン30(上限値=30時間/月)

月境界（毎月1日）



3. 機能詳細

本章では、TalkVisible クラウドサービスが提供する各機能について説明します。

3.1. ユーザーアカウント機能

TalkVisible クラウドサービスを利用するために必要なユーザーアカウントの作成を行います。本サービスを利用開始するためには、アカウント作成後に「3.3 ユーザーグループ機能」を設定する必要があります。

- 作成可能なユーザーアカウント数：1 グループあたり 50

3.2. 認証機能

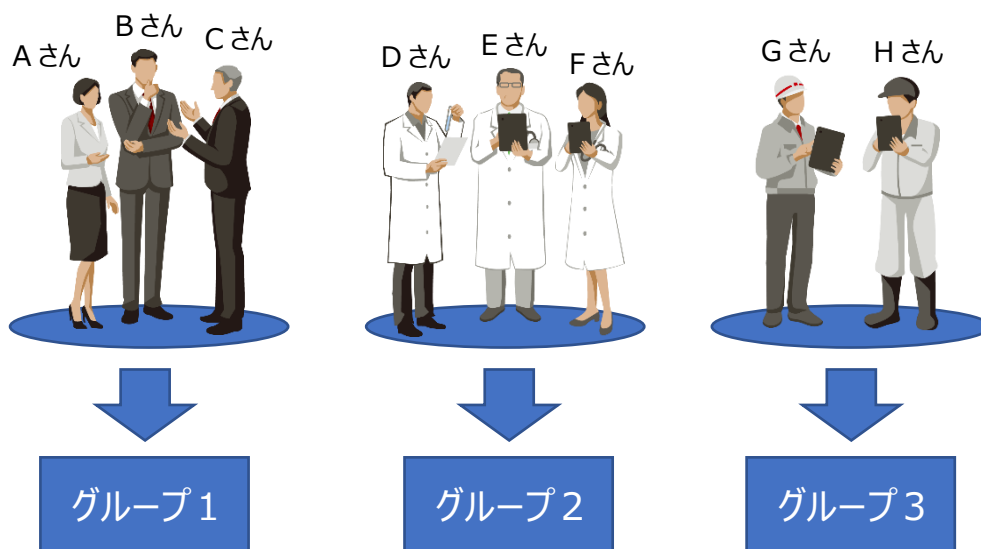
ユーザーが TalkVisible クライアントや TalkVisible エディタを使用する際、ログイン方法は、(1)～(3)の方法から選択できます。

- (1) アカウント ID とパスワードを使った認証を行います。
 - (2) (1)項での認証に加え、E メールで受領した認証コードにより認証を行います。
 - (3) (1)項での認証に加え、SMS（ショートメッセージサービス）で受領した認証コードにより認証を行います。
- ※初期設定は(1)項の認証方法となります。 認証方式を変更するにはアカウント毎に設定が必要となります。

3.3. ユーザーグループ機能

部署や目的に応じてユーザーグループを作成し、アクセス可能なユーザーアカウントをグループ毎に設定することで、会話の共有範囲を設定します。ユーザーグループ機能を設定できる権限、および作成可能なユーザーグループは下記の通りです。

- 契約者（テナント管理者）
グループの作成、グループ管理者の設定、グループへのアカウント追加・削除、グループ削除
- グループ管理者
グループへのアカウント追加・削除
- 作成可能なユーザーグループ数：20



3.4. 音声テキスト化機能

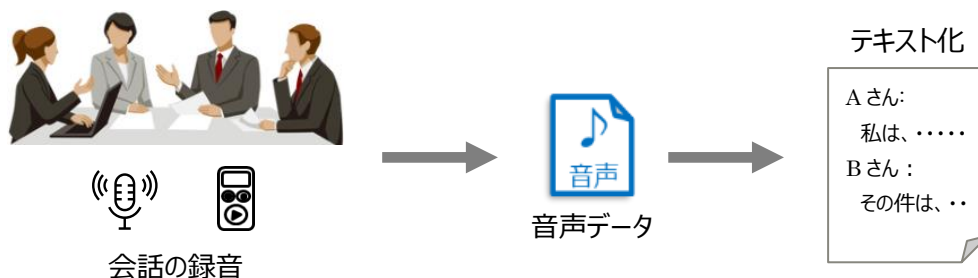
登録された会話音声データを解析し、テキスト化を行います。解析結果には、「会話情報」「発話時間」「話者」「タグ」「発言内容」が含まれます。さらにこの解析結果は、テキスト形式・CSV 形式・JSON 形式の文字起こしデータとしてエクスポート（ダウンロード）することができます。

- 登録可能な音声データ

項目	内容
種別	会話の音声または動画
拡張子（データ種別）	mp3、mp4、wav、aac、m4a
サイズ	2GB 以下
ファイル数	会話 1 つあたり 1 ファイルのみ

以下の詳細については、「2.1 プラン一覧」を参照願います。

- ・ 同時に解析実行できる会話の数
- ・ 解析待ちとして予約可能な会話の数
- ・ 会話保持数

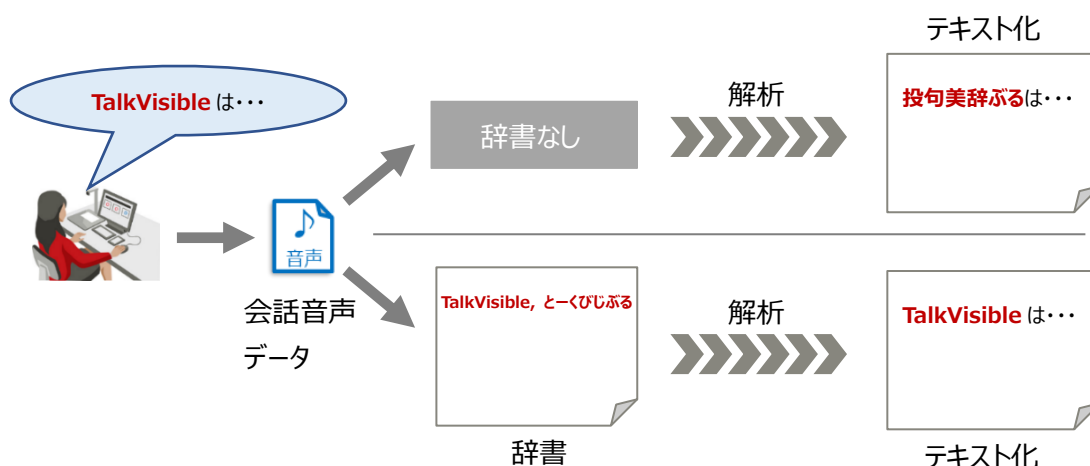


3.5. 話者識別機能

参加者に話者音声データを登録しておくことで、会話音声データの解析時に、発話者を識別（認識と区別）します。

3.6. 辞書機能

「専門用語」や「ユーザー固有の単語」を辞書として登録することで、会話音声データの解析時のテキストが補正されます。



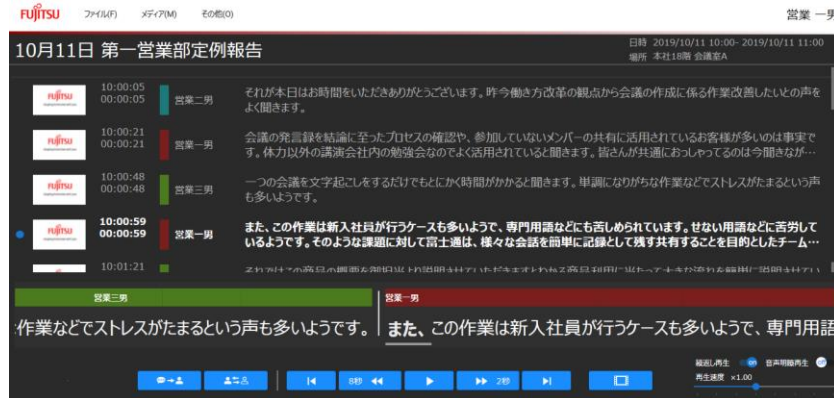
辞書は以下に示す三種類あり、その適用範囲が異なります。適用範囲にあわせて、最適に管理・使い分けを行うことが可能です。会話音声データの解析時に登録済みの各辞書を内部で自動結合されます。

種類	適用範囲	辞書数 単語数	辞書管理者
契約共通辞書	契約配下の全会話	1 辞書/契約 2,000/辞書	契約者（テナント管理者）
グループ共通辞書	ユーザーグループ配下の全会話	1 辞書/グループ 2,000/辞書	グループ管理者
会話辞書	指定の会話のみ	1 辞書/会話 2,000/辞書	ユーザー

また、登録した会話資料から自動的に単語抽出する支援機能により、辞書を作成する作業負担を軽減することができます。

3.7. テキスト編集機能

TalkVisible エディタを使用して、解析結果のテキストを編集します。AI にて明瞭化された再生音声を聞きながら、使いやすい編集機能により効率的に作業することができます。



※画面はイメージです、変更される場合があります。

また TalkVisible エディタにて、「3.5 話者識別機能」に使用可能な話者音声データとして切り出して登録することも可能です。

4. 動作環境

本章では、TalkVisible クラウドサービスを利用するにあたって、必要な動作環境を説明します。

4.1. クライアント環境

■ ハードウェア構成

種別	仕様
CPU	Intel Core i3 2000 番台以上
メモリ	4GB 以上
ディスク	空きが 40GB 以上
ネットワーク	1000BASE-T × 1 TalkVisible クラウドサービスへ接続できること
画面の解像度	1280 × 720 ピクセル以上

■ ソフトウェア構成

(1) TalkVisible クライアントのソフトウェア構成

種別	仕様
OS	Windows 10 (64 ビット版)

(2) TalkVisible エディタのソフトウェア構成

種別	仕様
OS	Windows 10 (64 ビット版)
追加ソフトウェア	.Net Framework 4.52 以降 Windows Media Player

【備考】

- Windows の各バージョンのサポート終了と連動し、当社サポートも終了します。

FUJITSU